

第1回 宮崎慢性痛治療フォーラム

謹啓 時下、先生方におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、この度、下記の日時におきまして学術講演会を開催させていただくこととなりました。
時節柄ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。
謹白

【日時】 2016年8月31日(水)19:00～20:30

【会場】 宮崎観光ホテル 西館8階 ブリリアント
宮崎市松山1-1-1 TEL 0985-27-1212

【製品紹介】19:00～19:10 疼痛治療剤「リリカカプセル」ファイザー(株)

【総合座長】 宮崎大学医学部感覚運動医学講座
整形外科学分野 教授 帖佐 悦男

【一般講演】19:10～19:30

『視床出血後に生じた慢性の感覚障害に
抗血小板薬が奏功した1例』

宮崎大学医学部臨床神経科学講座 精神医学分野
助教 塚本 彩香 先生

【特別講演】19:30～20:30

『背骨の病気と痛みの不思議』
昭和大学医学部整形外科学講座 教授 豊根 知明 先生

- ◆ 日本整形外科学会単位(1単位:1演題1単位) ※単位ご希望の方は受付にて1千円の受講料と会員ICカードをお持ち下さい。
[7] 脊椎・脊髄疾患、[13]リハビリテーション(理学療法, 義肢装具を含む)、脊椎脊髄病単位(SS)
- ◆ 日本医師会生涯教育講座(1単位)
59: 背部痛、60: 腰痛
- ◆ 参加費: 1千円

講演会終了後、情報交換の場を設けております。

『 背骨の病気と痛みの不思議 』

昭和大学医学部整形外科学講座 教授
豊根 知明 先生

背骨の病気の治療が大きくかわりはじめています。それは、背骨と脳、それぞれにおける痛みのメカニズムが少しずつ解明されてきたからです。手術・くすり・さらに痛みの不思議に関する最近の知見を紐解いていきます。

腰椎後弯・後側弯症ではその病態の解明と手術治療が近年大きく進歩してきました。肘をついての洗面・炊事、手を大腿前面についての歩行など、体幹を支持できないことが診断上重要な症状です。手術により、高度変形例においても劇的に症状の改善を得ることができるようになりましたが、何故PI(Pelvic Incidence)が重要なのかをお示します。

薬物療法の選択肢も増えました。NSAIDからCOX2阻害剤、そしてオピオイドへの変遷、さらに1日1回のトラマドールの利点、またその理由を知っておきたいと思います。

痛みの不思議:近年、functional MRIにより痛み関連脳領域が特定され、その領域がネットワークを形成して痛みの伝達・認知・感情・制御の役割を担っていること、特に背外側前頭前野(DLPFC)と慢性腰痛との関連性が報告されています。慢性腰痛の人ではDLPFCの体積が減り活動が衰えています。慢性痛とは長く続く急性の痛みではなく、侵害受容系から情動系へのシフトが痛みの慢性化の本態です。この痛みはどう取り組んで行けばよいのか、皆様と一緒に考えていきたいと思っています。